学校教育目標　〇自ら学び、考える子　〇心豊かで、思いやりのある子　〇たくましく生きる元気な子

EDOGAWA

（えどがわ）

春日部市立江戸川小中学校
学 校 だより7 月 号
令和8年6月26日
児童生徒数　186名

江戸川小中学校ホームページ　https://schit.net/kasukabe/edogawa/

子どもの心身の健康は大人に委ねられている

校長　鈴木　美江

世界各国で児童・青少年のスマートフォンとＳＮＳ使用を制限しようという動きがあります。行き過ぎたオンラインゲームを含むスマートフォン・ＳＮＳの使用が、子どもたちのメンタルヘルスに悪影響を与えているという危機感からです。

オーストラリアでは、2024 年、政府が 14 歳未満の SNS 利用を禁止する法案を提出する方針を発表しました。Instagram や TikTok など主要 SNS の利用を制限し、子どもをオンライン上の危険から守ることを目的とするものです。

イギリスでは、2023 年に「オンライン安全法（Online Safety Act）」が成立し、SNS 企業に対して未成年保護の強化を義務づける規制が段階的に進められています。

アメリカ（フロリダ州）では、2024 年に 14 歳未満の SNS アカウント開設を禁止する法律が成立しました。14〜15 歳についても保護者の同意が必要とされています。 また、全米 50 州のうち少なくとも 35 州が同様の規制導入を検討していると報じられています。

ＳＮＳにはＡＩなどによって、利用すればするほど、その人が興味を持ちそうな情報をレコメンド表示する仕組みがあります。様々な調査から、ＳＮＳの過剰利用は子どもたちのメンタルヘルスに悪影響を与えるとして世界的に問題となっているのです。

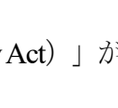
日本はどうかと言えば、スマートフォンを持たせるか否かの選択は、各家庭に任されています。このことは、「子どもの心身の健康は、各家庭に委ねられている」といえるでしょう。

家庭で決めたいスマホルール

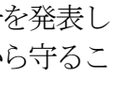
- 夜 21 時以降は親に預ける
- 寝室にスマホを持ち込まない
- ゲーム、SNS の利用時間を決める
- 困ったときは必ず大人に相談する

悪影響が出る前に、家庭でルールを決めておくことが大切です。大人が今できることは、①「子どもの状況を知る」 どんなアプリを使い、どんな世界に触れているかを理解する。②「SNS から離れられる時間をつくる」 外遊び、読書、体験活動など、SNS 以外の世界に触れる機会を増やす。③「正しい情報と安心できる居場所を伝える 」SNS には誤情報が多いこと、世界は広く子ども自身に価値があること、相談できる大人や機関がたくさんあることを伝える。などです。スマホを置き、外の世界に触れる時間が増えるだけで、子どもたちの心は驚くほど軽くなります。長い夏休みは、生活リズムが乱れやすく、ゲーム・スマホの利用が増える時期です。 ぜひご家庭で、夏休みの過ごし方としてゲーム・スマホの使い方について、今一度お子さんと話し合ってみてください。

結びになりますが、地域の皆様・保護者の皆様の１学期の教育活動へのご協力、ご支援に感謝申し上げます。お陰様で、温かな雰囲気の中で教育活動を展開することができました。誠にありがとうございました。２学期も変わらぬご支援をよろしくお願いします。



7月の生活目標



気持ちのよいあいさつをします。
そうじを一生懸命行います。

選手が躍動！！ 市内陸上大会(前期課程)

６月５日（金）、南桜井小学校において、市内陸上大会（東ブロック）が行われました。この日のために、４～６年生の希望者が５月の連休明けから練習に参加し、学校の代表として全力で競技しました。自己ベストを更新し満足そうな笑顔や、悔しさに涙する姿など、真剣に取り組んできたらこそ成長した姿が見られました。

♫最高の思い出♫　9年生修学旅行

６月２０日（土）～２２日（月）に、９年生が奈良・京都方面に修学旅行に行きました。修学旅行のスローガン「感じて学べ！歴史と文化　～in 京都&奈良」の達成に向けて、一人一人の役割を果たし仲間とも協力して、絆が深まった最高の３日間にすることができました。梅雨時期の修学旅行ということもあり天候が心配されましたが、ほぼ予定通りに進行できました。この貴重な経験を、今後に生かしてほしいと思います。